審査意見への対応を記載した書類

別紙目次

別紙１（【別添資料　９】）　カリキュラムマップ(教育課程とディプロマ・ポリシーの関係)
別紙２（【別添資料　６】）　アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、養成する人材像の関連
別紙３（【別添資料　７】）　ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、科目群の関連

大手前大学大学院国際看護学研究科　カリキュラム・マップ
(教育課程とディプロマ･ポリシーの関係)

本研究科のディプロマ・ポリシー(DP)を達成するために、以下の体系的な教育課程の編成を行っている。
以下の各DP達成にとって◎：最も重要な科目、○：重要な科目を示す。

科目区分			授業科目の名称	配当年次	ディプロマ・ポリシー		
					① グローバル社会における看護実践の基盤となる保健・医療・看護や健康支援の多様性を理解し、看護や医療に関する幅広い知識と倫理観を持って対象の価値観を尊重する国際性を修得している。	② 看護実践の場に内在する多様な健康課題を科学的分析力や論理的思考力によって探求し、グローバルな視点によって様々な健康課題の改善に取り組むための基礎的研究力を修得している。	③ グローバル社会に内在する健康課題の解決に向けて、専門分野の知識・技術の理解と研究を通して、専門性と独創性のある看護実践力を修得している。
共通科目		研究基盤科目	国際看護学特論	1前	◎		◎
			看護学研究方法特論	1前	○	◎	
			国際看護研究特論	1前	◎	◎	
			保健データ解析特講	1前		◎	
		研究関連科目	ジェンダー学特論	1前	◎		◎
			公衆衛生学特論	1前	◎	◎	
			健康栄養学特論	1後		◎	○
			医療人類学特論	1後	◎		
			デジタルヘルスケア特講	1前		◎	○
専門科目	看護実践科学	基盤専門看護学	看護管理特論	1後			◎
			慢性・老年看護特論	1後			◎
			看護技術特論	1後			◎
		生涯発達看護学	小児・思春期健康支援特論	1後		○	◎
			プレコンセプションケア特論	1後			◎
			セクシュアリティ看護特論	1後	○		◎
		国際地域看護学	地域在宅看護特論	1後			◎
			精神保健特論	1後		○	◎
			国際保健活動特論	1後	○		◎
	公衆衛生看護実践科学	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学特論	1前	○		◎
			公衆衛生看護実践特論	1前	○		◎
			公衆衛生看護実践演習	1前			◎
			人口学特講	2後		○	
			保健統計論	1前		○	
			疫学特講	1前		○	
			ハイリスク事例支援論	1後			◎
			コミュニティネットワーキング論	1後			◎
			地域ケアシステム論	1後			◎
			学校保健論	1後			◎
			産業保健論	1後	○		◎
			健康危機管理論	1後			◎
			グローバルコミュニティマネジメント論	2前	○		◎
			保健医療福祉行政論	2前			◎
			公衆衛生看護学レビュー	2前		○	○
			保健政策研究	2後		○	◎
			公衆衛生看護実習	2通	○		◎
			グローバルコミュニティ実習	2通	○		◎
	助産実践科学	助産学	助産学特論	1前	○		◎
			地域助産実習	1前			◎
			周産期学特論	1後			◎
			国際助産演習	1後	○		◎
			周産期健康危機管理ケア論	1後	○		◎
			助産診断技術学Ⅰ（分娩介助）	1通			◎
			助産診断技術学Ⅱ（継続ケア）	1通			◎
			助産診断技術学Ⅲ（健康診査と健康教育技法）	1通			◎
			助産研究レビュー	1通		○	
			助産診断技術実習	1通			◎
			新生児・乳幼児ケア論	2前			◎
			助産管理論	2前			◎
			開業助産実習	2通			◎
研究科特別科目			看護研究演習	1通	○	◎	
			看護特別研究	2通		◎	○

大手前大学大学院国際看護学研究科　カリキュラム・マップ
(教育課程とディプロマ･ポリシーの関係)

本研究科のディプロマ・ポリシー(DP)を達成するために、以下の体系的な教育課程の編成を行っている。
以下の各DP達成にとって◎：最も重要な科目、○：重要な科目を示す。

科目区分			授業科目の名称	配当年次	ディプロマ・ポリシー		
					④ グローバル社会に暮らす個人・集団・地域がもつ多様性に対応でき、リーダーシップをもって多職種連携を図り、科学的エビデンスに基づく専門性のある看護実践や新たな健康支援システムの構築に取り組む能力を修得している。		
					① グローバル社会に暮らす個人・集団・地域がもつ文化的背景によって醸成された価値観や生活習慣、規範、宗教等の多様性を理解し、人権を尊重する国際性を涵養している。	② グローバル社会に暮らす個人・集団・地域に内在する健康課題を洞察し、科学的分析力や論理的思考力によって、様々な健康課題の解決に向けた看護を探求する研究力を修得している。	③ グローバル社会に内在する健康課題に影響を与える行政システム、政治、経済、自然環境、民族固有の文化や価値観等を包括的に理解した上で健康課題の解決策を探求し、創造性のある看護実践力を修得している。
共通科目	研究基盤科目		国際看護学特論	1前	◎		
			看護学研究方法特論	1前	○	◎	
			国際看護研究特論	1前	○	◎	
			保健データ解析特講	1前		◎	
	研究関連科目		ジェンダー学特論	1前	◎		
			公衆衛生学特論	1前	◎	◎	
			健康栄養学特論	1後			◎
			医療人類学特論	1後	◎	◎	
			デジタルヘルスケア特講	1前			◎
専門科目	看護実践科学	基盤専門看護学	看護管理特論	1後	○		◎
			慢性・老年看護特論	1後	○	○	◎
			看護技術特論	1後	○		◎
		生涯発達看護学	小児・思春期健康支援特論	1後	○	◎	◎
			プレコンセプションケア特論	1後	○		◎
			セクシュアリティ看護特論	1後	◎		◎
		国際地域看護学	地域在宅看護特論	1後	○		◎
			精神保健特論	1後	○	◎	◎
			国際保健活動特論	1後	◎	○	◎
	公衆衛生看護実践科学	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学特論	1前	○		◎
			公衆衛生看護実践特論	1前	◎		◎
			公衆衛生看護実践演習	1前			◎
			人口学特講	2後	○	◎	○
			保健統計論	1前	○	◎	○
			疫学特講	1前	○	◎	○
			ハイリスク事例支援論	1後	○	○	◎
			コミュニティネットワーキング論	1後	○		◎
			地域ケアシステム論	1後	○		◎
			学校保健論	1後	◎		◎
			産業保健論	1後	◎		◎
			健康危機管理論	1後		○	◎
			グローバルコミュニティマネジメント論	2前	◎		◎
			保健医療福祉行政論	2前			◎
			公衆衛生看護学レビュー	2前		◎	○
			保健政策研究	2後	○	○	◎
			公衆衛生看護実習	2通	◎		◎
			グローバルコミュニティ実習	2通	◎		◎
	助産実践科学	助産学	助産学特論	1前	◎	○	◎
			地域助産実習	1前	○		◎
			周産期学特論	1後			◎
			国際助産演習	1後	◎		◎
			周産期健康危機管理ケア論	1後	◎		◎
			助産診断技術学Ⅰ（分娩介助）	1通			◎
			助産診断技術学Ⅱ（継続ケア）	1通	○		◎
			助産診断技術学Ⅲ（健康診査と健康教育技法）	1通			◎
			助産研究レビュー	1通	◎	◎	○
			助産診断技術実習	1通			◎
			新生児・乳幼児ケア論	2前		○	◎
			助産管理論	2前	○		◎
			開業助産実習	2通			◎
研究科特別科目			看護研究演習	1通	◎	◎	○
			看護特別研究	2通	○	◎	○

アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、養成する人材像の関連

アドミッション・ポリシー

② グローバル社会に内在する多様な健康課題に高い関心を持ち、研究的視点によって看護を探求し、看護実践の向上に取り組む意欲のある者。

③ 看護実践に根差した研究能力を修得し、広く俯瞰的に物事を捉え、将来にわたって看護を探求する意欲のある者。

④ 看護職としての経験を通して、グローバル社会に対応した専門性のある看護実践能力の修得に意欲のある者。

⑤ グローバル社会に暮らす多様な人々への健康支援に強い関心を持ち、包摂社会の形成に向けて取り組む公衆衛生看護実践科学を学ぼうとする者。

⑥ グローバル社会に暮らす多様な女性や子どもの健康支援に加えて、国内外の母子保健の向上に強い関心を持ち、対象のニードに寄り添った助産実践科学を学ぼうとする者。

① 看護師免許取得者（見込みを含む）で、看護師としての基本的な知識や技術を有し、研究科での学修や研究のために必要な基礎的英語能力を有する者。（基本的素養）

カリキュラム・ポリシー

① グローバル社会における看護実践の基盤となる保健・医療・看護や健康支援の多様性への理解を深め、対象の特性や価値観を尊重する国際性を涵養するために、「共通科目」に国際看護の基礎を学修する「研究基盤科目」と新しい視座を持つための「研究関連科目」を配置する。

② 看護実践の場に内在する多様な健康課題を科学的分析力や論理的思考力をもって解決する看護を探求する研究力を涵養するために、国際看護学の研究力の基礎を学修する「研究基盤科目」と、研究の新しい視点を学修する「研究関連科目群」を「共通科目」に配置し、修士論文を作成する「特別研究科目」を配置する。

③ グローバル社会に内在する健康課題の解決に向けて、専門性かつ独創性のある看護を実践する能力を涵養するために、『看護実践科学分野』・『公衆衛生看護実践科学分野』・『助産実践科学分野』の各分野に「専門科目」を配置する。

④ 学習成果の評価基準は、シラバスに明示し、講義では、試験およびレポート課題を中心に評価を行い、演習では、事前自己学習、演習への参加態度、プレゼンテーションなどで評価を行う。（評価方法）

ディプロマ・ポリシー

① グローバル社会における看護実践の基盤となる保健・医療・看護や健康支援の多様性を理解し、看護や医療に関する幅広い知識と倫理観を持って対象の価値観を尊重する国際性を修得している。

② 看護実践の場に内在する多様な健康課題を科学的分析力や論理的思考力によって探求し、グローバルな視点によって様々な健康課題の改善に取り組むための基礎的研究力を修得している。

③ グローバル社会に内在する健康課題の解決に向けて、専門分野の知識・技術の理解と研究を通して、専門性と独創性のある看護実践力を修得している。

養成する人材像

①多様な人々が暮らすグローバル社会において 醸成された人々の生活や価値観、規範等を理解し、人権を尊重する国際性を持つ者。

② 高潔な倫理観と人権意識、使命感と高い志をもって包摂社会を探求する研究力を持つ者。

③ 人々の健康に影響を与える 諸要因を俯瞰的に捉え、グローバル社会に存在する看護の相違を調整することによって対象のニード に沿った看護実践力を持つ者。

卒業後の進路

看護実践リーダー、看護管理者、看護研究・教育者、看護行政職（看護系技官、検疫官、刑務官看護師など)、国際保健関連機関（JICA専門家など）、職能団体役員

将来

様々な経歴を重ねることによって国内外の国際保健医療政策の発展に貢献できる人材

国際性

研究力

看護実践力

国際看護学研究科の3つのポリシーと養成する人材像

アドミッション・ポリシー

実践力修得への意欲

- 助産実践科学を学ぼうとする者。
- 公衆衛生看護実践科学を学ぼうとする者
- 看護職としての経験を通して、グローバル社会に対応した専門性のある看護実践能力の修得に意欲のある者

研究力修得への意欲

- 看護の対象に影響を与える文化や社会、政治、経済に関心を持ち、広く俯瞰的に物事を捉え、文化に沿った看護を探求する研究力を修得することに意欲のある者

国際性修得への意欲

- グローバル社会に暮らす個人・集団・地域がもつ文化の多様性に関心を持ち、研究的視点によって、それぞれの文化に寄り添う看護を探求することに高い関心と意欲のある者

基本的素養

- 看護師免許取得者（見込みを含む）で、看護師としての基本的な知識や技術を有し、研究科での学修や研究のために必要な基礎的英語能力を有する者。

カリキュラム・ポリシー

教育課程

特別研究科目
明確になった研究課題を研究論文としてまとめる

- 看護研究演習 研究力 実践力 国際性
- 看護特別研究 研究力 実践力 国際性

専門科目
国際性を涵養しながら対象の健康課題を解決するための理論および技術を身に着け専門性のある看護実践力を修得するとともに、研究方法についても知識を深める

【基盤専門看護学】
- 看護管理特論 実践力 国際性
- 慢性・老年看護特論 実践力 国際性 研究力
- 看護技術特論 実践力 国際性

【生涯発達看護学】
- 小児・思春期健康支援特論 実践力 研究力 国際性
- プレコンセプションケア特論 実践力 国際性
- セクシュアリティ看護特論 実践力 国際性

【国際地域看護学】
- 地域在宅看護特論 実践力 国際性
- 精神保健特論 実践力 研究力 国際性
- 国際保健活動特論 実践力 国際性 研究力

【公衆衛生看護学】
- 公衆衛生看護学特論 実践力 国際性
- 公衆衛生看護実践特論 実践力 国際性
- 公衆衛生看護実践演習 実践力
- 人口学特講 研究力 実践力 国際性
- 保健統計論 研究力 実践力 国際性
- 疫学特講 研究力 実践力 国際性
- ハイリスク事例支援論 実践力 国際性 研究力
- コミュニティネットワーキング論 実践力 国際性
- 地域ケアシステム論 実践力 国際性
- 学校保健論 実践力 国際性
- 産業保健論 実践力 国際性
- 健康危機管理論 実践力 研究力
- グローバルコミュニティマネジメント論 実践力 国際性
- 保健医療福祉行政論 実践力
- 公衆衛生看護学レビュー 研究力 実践力
- 保健政策研究 研究力 実践力 国際性
- 公衆衛生看護実習 実践力 国際性
- グローバルコミュニティ実習 実践力 国際性

【助産学】
- 助産学特論 実践力 国際性 研究力
- 地域助産実習 実践力 国際性
- 周産期学特論 実践力
- 国際助産演習 実践力 国際性
- 周産期健康危機管理ケア論 実践力 国際性
- 助産診断技術学Ⅰ（分娩介助） 実践力
- 助産診断技術学Ⅱ（継続ケア） 実践力 国際性
- 助産診断技術学Ⅲ（健康診査と健康教育技法） 実践力
- 助産研究レビュー 研究力 国際性 実践力
- 助産診断技術実習 実践力
- 新生児・乳幼児ケア論 実践力 研究力
- 助産管理論 実践力 国際性
- 開業助産実習 実践力

共通科目
国際看護学の視点で研究を行うための基礎力と、研究の発展に必要な教養を修得する

【研究関連科目】
- ジェンダー学特論 国際性
- 公衆衛生学特論 国際性 研究力
- 健康栄養学特論 実践力
- 医療人類学特論 国際性 研究力
- デジタルヘルスケア特講 実践力

【研究基盤科目】
- 国際看護学特論 国際性
- 看護学研究方法特論 研究力 国際性
- 国際看護研究特論 研究力 国際性
- 保健データ解析特講 研究力

教育方法
- ICT活用
- 英語を用いた授業
- 多面的討議 リフレクション
- 多様な地域での実習

学術交流協定
- アデレード大学（豪州）
- フリンダース大学（豪州）
- ツーチ科技大学（台湾）
- チェンマイ大学（タイ）
- ヨンセイ大学（韓国）
- Mega Buana Palopo University（インドネシア）
- ナンヤン・ポリティーク高等専修学校（シンガポール）
- 国立フィリピン総合病院（フィリピン）
- チェンマイ大学病院（タイ）
- ホソット病院（ラオス）
- Institute of Mental Health（シンガポール）

教員組織
- 海外留学経験
- 海外での看護実践経験
- 国際的な研究活動
- 多くの研究業績

研究力の向上 → 国際看護研究所（JBI-Implementation Center） 連携
- ジョアンナブリッグス研究所
- The International Learning Collaborative

国内外の国際保健医療活動の発展に貢献できる人材へ

- 看護実践リーダー 研究者 教育者
- 保健師 助産師
- 看護系技官・検疫官 職能団体職員 政治家

ディプロマ・ポリシー

グローバル社会に暮らす多様な人々の健康課題を洞察し、科学的分析力と論理的思考と文化的理解により課題解決する能力

- 研究力
- 国際性
- 看護実践力

個人や集団、地域がもつ文化的背景によって醸成された価値観や生活習慣、規範などの多様性を理解し、人権を尊重する姿勢

政治・経済、自然環境や文化、価値観を俯瞰的に捉え、健康課題の解決に向けて創造性のある看護を実践する能力

別紙2（【別添資料6】）旧

別紙3（【別添資料7】）　新

ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、科目群の関連

ディプロマ・ポリシー

① グローバル社会における看護実践の基盤となる保健・医療・看護や健康支援の多様性を理解し、看護や医療に関する幅広い知識と倫理観を持って対象の価値観を尊重する国際性を修得している。

② 看護実践の場に内在する多様な健康課題を科学的分析力や論理的思考力によって探求し、グローバルな視点によって様々な健康課題の改善に取り組むための基礎的研究力を修得している。

③ グローバル社会に内在する健康課題の解決に向けて、専門分野の知識・技術の理解と研究を通して、専門性と独創性のある看護実践力を修得している。

国際性

研究力

看護実践力

カリキュラム・ポリシー

① グローバル社会における看護実践の基盤となる保健・医療・看護や健康支援の多様性への理解を深め、対象の特性や価値観を尊重する国際性を涵養するために、「共通科目」に国際看護の基礎を学修する「研究基盤科目」と新しい視座を持つための「研究関連科目」を配置する。

② 看護実践の場に内在する多様な健康課題を科学的分析力や論理的思考力をもって解決する看護を探求する研究力を涵養するために、国際看護学の研究力の基礎を学修する「研究基盤科目」と、研究の新しい視点を学修する「研究関連科目群」を「共通科目」に配置し、修士論文を作成する「特別研究科目」を配置する。

③ グローバル社会に内在する健康課題の解決に向けて、専門性かつ独創性のある看護を実践する能力を涵養するために、『看護実践科学分野』・『公衆衛生看護実践科学分野』・『助産実践科学分野』の各分野に「専門科目」を配置する。

④ 学習成果の評価基準は、シラバスに明示し、講義では、試験およびレポート課題を中心に評価を行い、演習では、事前自己学習、演習への参加態度、プレゼンテーションなどで評価を行う。（教育評価方法）

科目群

共通科目		
研究基盤科目		国際看護学特論、看護学研究方法特論 国際看護研究特論、保健データ解析特講
研究関連科目		ジェンダー学特論、公衆衛生学特論、健康栄養学特論　医療人類学特論、デジタルヘルスケア特講
専門科目		
看護実践科学	基盤専門看護学	看護管理特論　慢性・老年看護特論　看護技術特論
	生涯発達看護学	小児・思春期健康支援特論　プレコンセプションケア特論　セクシュアリティ看護特論
	国際地域看護学	地域在宅看護特論　精神保健特論　国際保健活動特論
公衆衛生看護実践科学	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学特論、公衆衛生看護実践特論、公衆衛生看護実践演習、人口学特講、保健統計論、疫学特講、ハイリスク事例支援論、コミュニティネットワーキング論、地域ケアシステム論、学校保健論、産業保健論、健康危機管理論、グローバルコミュニティマネジメント論、保健医療福祉行政論、公衆衛生看護学レビュー、保健政策研究、公衆衛生看護実習、グローバルコミュニティ実習
助産実践科学	助産学	助産学特論、地域助産実習、周産期学特論、国際助産演習、周産期健康危機管理ケア論、助産診断技術学Ⅰ（分娩介助）、助産診断技術学Ⅱ（継続ケア）、助産診断技術学Ⅲ（健康診査と健康教育技法）、助産研究レビュー、助産診断技術実習、新生児・乳幼児ケア論、助産管理論、開業助産実習
特別研究科目		
		看護研究演習　看護特別研究